

GMS・デンソー、PCR検査キット流通を無償支援

Edited By LogisticsToday On 2020/05/19



国内シェア
NO.1

日本と同じ在庫管理クオリティを実現！
クラウド

東南アジアでも使えるWMS

現地の言語・日本語・英語でサポート対応可能

 ロジサードZERO [詳しくはこちら >](#)

グローバルモビリティサービス（GMS、東京都港区）とデンソーは18日、インドネシアで小型冷凍車を活用し、新型コロナウイルスを検出するPCR検査キットやその原材料を、医療機関、検査機関、製薬会社などへ配送する活動を無償支援する、と発表した。

この取り組みは、インドネシア技術評価応用庁が主導するプロジェクト「Indonesia Pasti Bisa」（インドネシアならきっとできる）に両社が参画するもので、プロジェクトはこれまで海外からの輸入に頼っていたPCR検査キットを国産で10万個量産することを目指す。すでに国営製薬会社のビオ・ファルマが国産検査キットの量産を開始しており、GMSとデンソーはこれらの流通を無償支援する。



PCR検査キットやその原材料の配送には、マイナス20度以下という厳格な低温輸送環境の維持や衛生基準の順守に加え、リアルタイムに車両位置を把握することが求められるが、両社は2019年にインドネシアで開始した小口保冷輸送サービスの実証事業で使用した小型冷凍車を提供することで、これらの要件をクリア。5月5日から流通活動の無償支援を行っている。

今後はジャカルタ市内と周辺地域の医療機関・検査機関に対し、PCR検査キットの流通活動を支援していく。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/377547>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.